

# 民主島根

2022年  
**7.17**  
第1408号

発行所 松江市袖師町3-6 TEL 0852-24-2444  
日本共産党島根県委員会 FAX 0852-24-6369

## 草の根の力で改憲阻止を 福住英行氏 鳥取・島根 健闘

### 仁比聡平 前参院議員の比例議席を回復

日本共産党は、比例代表では、改選6議席から4議席(得票361万8342票、得票率6.8%)へと後退しましたが、田村智子、岩淵友の両現職の議席を確保し、元職の仁比聡平氏の議席を回復することができました。

選挙区は、東京で山添拓氏が無党派派層の中で最も多くの得票を獲得し、3位で当選しました。市民と野党の共闘では、沖縄で「オール沖縄」の伊波洋一氏が、大接戦を制して当選。青森の田名部匡代氏、長野の杉尾秀哉氏が勝利しました。

東西の直線距離が300キロと広い鳥取・島根選挙区で奮闘した福住英行氏は鳥取、島根両県合計で37723票(得票率7.22%)を獲得しました。(2面に「得票結果(島根)」を掲載) 上代善雄県委員長は結果を受けて「9条改憲の動きが強まる」と予想される。『世界に誇れる憲法9条を生かした平和外交で東アジアに

### 福住氏「島根原発再稼働ストップ」 公約実現へ奮闘する決意述べる

山陰両県で176回の演説を行った福住氏は投票日の10日、鳥取市内の選挙事務所ですら「暮らしや島根原発の問題など街頭からあたたかい反応が寄せられた。広い選挙区で18日間、悔いのないたたかいができた」と振り返り、「選挙で訴えた公約の実現へ、一人の政治家として引き続き訴えていきたい」と決意を述べました。

福住氏は、改憲勢力が改憲発議に必要な3分の2の議席を確保したことについて、「比例で議席を回復した仁比聡平さん(弁護士)と力をあわせ、改憲を許さないたたかいに力を尽くす」と決意表明。選挙期間中、訴え続けてきた中国電力島根原発2号機の再稼働ストップへ、引き続き全力を挙げると訴えました。宣伝には、上代善雄

### 憲法こそ希望 今こそ弁護士 仁比氏 新しい国会で頑張ると決意

3年ぶりに議席を回復した仁比氏は11日朝、JR博多駅前、福岡選挙区で大奮闘した真島省三氏をはじめ、田村貴昭衆院議員、福岡県委員会のメンバーらとともに、選挙結果を報告し、公約実現への決意を語りました。

仁比氏は、選挙を通じ、平和を求めたい国民の中に広がったと述べ、「憲法は国民の力で権力を縛るものだ」と強調。衆参両院で改憲勢力が3分の2を占めたとしても、国民の声と運動は憲法を守り生かしていく一番の力になると述べ、「これから国会で憲法改悪と大軍拡を何としてもやめさせ、平和外交の日本に変えていく。すべての国民のみなさんと一緒に力を合わせて全力で頑張ります」と力を込めました。



投票翌日、公約実現に向けた決意を訴える福住氏ら(松江市)



中国・四国・九州沖縄17県を駆け巡り議席を奪還した仁比氏(福岡市)

島根県農民運動連合会(島根県農民連)はこのほど県に対し燃油価格や家畜飼料、肥料原料、農業資材の高騰から島根の農業を守る緊急対策を要請しました。

### 物価高騰で営農の危機 島根県農民連が県に対策を要望

深刻な事態が生じていると訴え、「次の人たちにバトンタッチできるよう、県として中小の農業経営もしっかりと応援してほしい」と強く要求。

消費税率5%減税・インボイス中止、大企業の内部留保への時限的な課税による賃上げの促進、年金削減中止・学費半額・給食費ゼロ、原発ゼロで純国産の再生エネの大普及、ジェンダー平等など、どれも国民の切実な願いであり、一連の政策に対して期待が広がった▼岸田首相は選挙後、「できるだけ早く(改憲)発議したい」と公言。今月15日は党創立100年―自由と平和をまつすぐ、つらぬく党の真価を発揮すべき時。公約実現とともに、9条改憲必ず阻もう。(遠)

### 鼓動

新型コロナウイルス禍やロシアによるウクライナ侵略、物価高が直撃し、社会保障のほころびなど、将来への不安が高まる中、10日投票された参議院選挙▼日本共産党は、選挙区では唯一の現職区だった東京選挙区で、山添拓氏が再選を果たしたものの、比例代表は「650万票、得票率10%以上、5議席絶対確保」の目標に対し、361万8千票、得票率6.8%、3議席にとどまり、改選6議席から4議席に後退する大変悔しい結果となった。猛暑の中で奮闘していただいた支持者、後援会員、サポーター、黨員のみなさんに心からの感謝を申し上げたい▼ウクライナ危機に乗じて自民、公明、維新、国民民主などが「大軍拡」「9条改憲」の大合唱をするもと、わが党は9条を生かした外交で東アジアに平和を創出する「外交ビジョン」を示してたたかっていた。